

戦争をさせない
Anti-War Committee of 1000
1000人委員会

1000人委員会ニュース
N0.38

(2016年1月12日)

〒101-0063 東京都千代田区
神田淡路町 1-15 塚崎ビル三階
TEL 03-3526-2920
FAX 03-3526-2921

国会召集の1月4日 戦争法の廃止と安倍内閣の退陣を求め 総がかり国会前集会に3800人

昨年10月の内閣改造後、速やかに召集すべき臨時国会の開会を実施せず、憲法の規定を無視してきた安倍内閣が1月4日、ようやく国会を召集、開会式を行いました。この日、総がかり行動実行委員会は議員会館前で戦争法の廃止と安倍内閣の退陣を求めて集会を開催、3800人が参加しました。

今夏の参議院選挙に勝利し 戦争法廃止、安倍政権の退陣へ

集会は、まず、各政党の代表が連帯の挨拶を行い、社民党からは、**福島瑞穂副党首**。民主党からは**福山哲郎参議院議員**。共産党からは**山下芳生書記局長**、維新の党からは、**初鹿明博衆議院議員**が、口々に、半年後に迫った参議院選で勝利し、戦争法廃止、安倍内閣を退陣に追い込もうと訴えました。

また、主催三団体を代表し「戦争を1000人委員会」の**清水雅彦さん**。「憲法を守り、いかす共同センター」の**小田川義和さん**、「9条壊すな！実行委員会」の**高田健さん**がそれぞれ、「決してあきらめることなく、参議院選勝利に向けたたたかいぬこう」と、その決意を述べました。

続いて、止めよう！辺野古埋め立て国会包囲行動実行委員会の**野平晋作さん**が「辺野古基地建設反対と戦争法廃止の闘いは一対のものだ、共にたたかおう！」と呼びかけ、秘密保護法廃止実行委員会の**海渡雄一弁護士**は、「戦争法と秘密保護法ともに廃止を！」と訴えました。安保法制違憲訴訟の会の**内田雅敏弁護士**は、「あの戦争で亡くなった沢山の人の無念の死を背景に生まれた憲法を生かすのか否かを大衆運動として裁判官に迫って行こう！」と訴えました。



【1月4日、国会前には3800人が集まった】

2000万統一署名の成功を！

最後に行動提起を「憲法を守り、いかす共同センター」の**木下興さん**が行い、「2000万統一署名活動を必ず成功させ、腰を据えて様々な取り組みを全国でやりぬこう！」と訴えました。

12月19日 自衛隊を戦場へ送るな！ 総がかり講演集会に 2200 人が参加

12月19日、総がかり行動実行委員会は北とびあ・さくらホールで「自衛隊を戦場へ送るな！総がかり講演集会」を開催しました。参加者は2200名で、会場に入りきれず第2会場、第3会場を用意することになりました。

2000 万署名をやりぬき 参議院選挙で安倍内閣の退陣へ

集会は、まず、オオタ・スセリさんのオープニングイベントで始まり、社会問題を風刺した替え歌やコントで会場を笑わせました。

次に**高田健さん（解釈で憲法 9 条を壊すな！実行委員会）**が主催者を代表して挨拶、「強行採決後も運動は衰えてはいない。2000 万人署名をやりぬき、来年の参議院選挙では野党共闘により安倍内閣を退陣に追い込みましょう」と訴えました。



そして、**中野晃一さん（上智大学教授）**が今後予定されている「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」について提起。「私たちは多くの人にささえられてやってこれた。これから大事なことは、戦争法を廃止して立憲主義を回復し、個人の尊厳や自由が守られる、そんな政治が回復されることだ。今後、野党共闘を後押しし、平和への思いは死んでおらず、むしろ強くなっている、私たちが舐めてはいけない、主権者は私たちなんだということを自公政権に思い知らせていこう。」と訴えました。



民主党・社民党・共産党・生活の党の 代表が連帯の挨拶

国会議員から民主党・小川敏夫参議院幹事長、共産党・山下芳生書記局長、社民党・吉田忠智党首、生活の党・渡辺浩一郎元衆議院議員がそれぞれ発言し、「来年の参議院選挙で自公政権を倒すそう」と訴えました。



続いて、**井筒高雄さん（元自衛官）**が「戦争法と自衛隊」、**高木太郎さん（弁護士）**が「自衛官の家族相談から」と題して講演を行いました。
【講演要旨別途参照】

続いて、主催 3 団体から**戦争させない 1000 人委員会・山本圭介さん**、**解釈で憲法 9 条を壊すな！実行委員会・菱山南帆子さん**、**憲法共同センター・米山淳子さん**が各団体を代表して

闘う決意を述べました。最後に、戦争をさせない 1000 人委員会・呼びかけ人の**鎌田慧さん**が「自衛官を戦場に送らないことが戦争をさせないことだ。戦争法を廃止し、憲法改悪を止める。自衛官の命を守っていく広範な運動を更に広げよう、」と呼びかけ閉会の挨拶を行いました。

①講演要旨

「戦争法と自衛隊」 井筒高雄氏 (元自衛官)

私はマラソンでオリンピックに出たくて陸上自衛隊の体育学校に入ったが、途中成績が良くなってレインジャー部隊に配属になった。入隊する際、「事に臨んでは危険を顧みず、身を以て責務の完遂に務め、もって国民の負託にこたえることを誓います。」との「サービスの宣誓」をして契約を結ぶ。しかし、戦争法が成立した9月19日の前と後ではがらりと変わった。9月18日までは専守防衛に徹して、命を投げ出して国民を守ることだったが、これからは、海外に出て、命を投げ出すことになった。また、国民の負託とあるが、国民の多くは戦争法の国会での成立をすべきでなかったと答えており、国民の負託にこたえる環境にないこと明白だ。国民の負託ではなくアメリカの負託、安倍総理の負託にこたえるということになってしまった。

自衛隊の三大任務は当初①防衛出動、②治安活動、③災害派遣であったが、92年のPKO法の成立でPKO活動が付随任務として加わり2004年のイラク派兵後、本来任務になり、①防衛出動、②治安活動、③国際協力の三大任務になった。さらに、国連のPKO活動については、PKO法の成立の際強調された5原則（紛争当事者の停戦合意②紛争当事者の同意③中立的立場の厳守等）だったが、その後、大きく変わり、停戦合意も紛争当事者の同意も、中立的立場の厳守もないまま、軍隊、警察の機能を担うように変質した。南スーダンの自衛隊のPKO活動で駆けつけ警護＝武力行使が予定されているが、大統領派と副大統領派の武力対立＝内戦状態が続いている。殺し殺される事態になる。だから来年の参議院選前にはやらず、選挙後にやるつもりだ。もし自衛隊員が戦死したらどうなるか。自衛官が死んだとき通知書というのがあるが、死亡欄に病死か事故死しなく戦死がない。また、戦死した時の死亡弔意金の金額も未定のままだ。また、戦争では戦死者より負傷者が圧倒的に多いが、戦地で負傷した時の治



療・応急処置も現行法では制限されたままだ。これまでの米国の戦争では死傷者の数は米軍により、多国籍軍の方が多く、戦闘地域より非戦闘地域での戦死者が多い。相手は、最前線より、非戦闘地域での輸送補給等の後方支援部隊を狙うことが多いからだ。アメリカは後方支援部隊の犠牲が多いから民間に委託してきた。今後は、これに、日本の自衛隊を当てようとしている。防衛費の増は必至、今後緊急事態法等ができる。参議院選挙で勝って戦争法を廃止しないと大変なことになる。思想信条の違いや好き嫌いを言っている場合ではなく、戦争法廃止の一点で共闘するしかない。年配者も若者・高校生も連帯して戦争法廃止のために一票を投じよう。

②講演要旨

「自衛官の家族相談から」 高木太郎氏 (日本労働弁護団元幹事長・弁護士)

今年の9月12日と15日に「自衛官と家族恋人のための電話相談」を実施した。こんな意見が寄せられた。「身辺調査を行われると思い怖くて国会前には行けなかったが法案には反対だ。」「人を殺すために防衛大学校に入れたのではない。防衛大学校にも不安の声が広がっている」「海外の戦地に派遣されるとは思わなかった、孫が自衛隊に入ることを反対しなかった自分の勉強不足を後悔している。」「反対の声を上げたいができない。こんな現状をみんなにわかってほしい。」「上官からこんな事態になったのだから、自分のお墓の場所くらいは調べておけと言われた。」「不安を相談し合う仲間がいない、家族同士、不安を口にしないようにしている」、「自分はできないが誰かが訴訟を起こしてほしいと思う」「本当は、退職したいが、他の職が見つけにくいから、生活のためやめられない」「政治的活動をしていることが知られたら、出世に響くからやめてほしいと言われた。」「災害救助活動に心動かされ入隊したのに。これでは、これからが不安だ。」

憲法違反の法律に従って戦争に行く必要はない。拒否できる。私たちはあなたたちを支援します。君死に給うことなかれ、と自衛官とその家族に、私たちは呼びかけてきた。この観点からもさらにたたかいを続けていきたい。

市民連合が結成

参議院選挙での野党共闘をめざし、
候補者の推薦と支援を求める

12月20日、戦争法（安保関連法）に反対してきた各団体の有志が「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（略称＝市民連合）を結成した。市民連合は、方針として、戦争法廃止の2000万署名活動を「共通の基礎」に置き、(1)安全保障関連法の廃止(2)立憲主義の回復(3)個人の尊厳を擁護する政治の実現—に向け野党共闘を求め、参議院選における候補者の推薦と支援を行うこととしている。

1月5日 街頭宣伝行動を実施 5000人が参加

また、1月5日、東京・新宿駅西口で新春大街頭宣伝行動を行い「アベにNO！野党共闘へ！」を訴えた。小林節（慶応大学名誉教授）、瀧本知加（ママの会 熊本）、吉田忠智（社会民主党）、香山リカ（精神科医）、高田健（総がかり行動実行委員会）、蓮舫（民主党）、内田樹（学者の会）、志位和夫（日本共産党）、中野晃一（立憲デモクラシーの会）、本間信和（SEALDs）、想田和弘（映画監督）、初鹿明博（維新の党）、佐藤学（主催者・学者の会）の各氏が戦争法の廃止と参議院選での勝利を訴えた。



1月5日、新宿駅西口、5000人が集った



戦争法違憲訴訟 集団提訴へ

弁護士有志でつくる「安保法違憲訴訟の会」は、集団的自衛権行使の差し止めと同法成立でうけた精神的苦痛に対する慰謝料などを求める国家賠償請求訴訟を各地で行うことを明らかにした。違憲訴訟の会は9月に結成、提訴の準備を重ねてきたが、現在300名のメンバーで構成され、高裁のある全国8地裁で今年3月をめどに提訴に踏み切る方針。共同代表の一人伊藤真弁護士は「立憲主義と国民主権の回復のため違憲の安保関連法を発動させず廃止させる」と決意を明らかにした。また、原告を全国で募り集団提訴に持ち込みたいとしている。

あなたも原告に 加わりませんか！

原告になってもいいとお考えの方は、氏名、住所、連絡先（電話番号、Fax番号、メールアドレス）を明記し、下記まで連絡して下さい。

安保法制違憲訴訟の会

東京都渋谷区桜丘町17-6 渋谷協栄ビル2階

電話：03-3780-1260

FAX：03-3780-1287

メールアドレス

iken.sosyou@gmail.com

【安保法制違憲訴訟の会・共同代表】 (50音順)

- 伊藤 真 (法学館憲法研究所所長)
- 内田雅敏 (戦争をさせない1000人委員会事務局長)
- 黒岩哲彦 (東京弁護士会元副会長)
- 杉浦ひとみ (コスタリカに学ぶ会事務局長)
- 田村洋三 (名古屋高等裁判所元裁判官)
- 角田由紀子 (一票で変える女たちの会呼びかけ人)
- 寺井一弘 (日本弁護士連合会元事務総長)
- 福田 護 (厚木基地訴訟副弁護団長)
- 堀野 紀 (日本弁護士連合会元副会長)

総力を挙げて 2000 万人統一署名の成功を！

各地で街頭署名活動が 展開されています

◆日音協（日本音楽協議会東京都支部）が 山手線一周全駅・歌付署名活動を展開中

日音協（日本音楽協議会東京都支部）では、戦争法の廃止を求める統一署名の山手線一周全駅行動を実施しています。1 月 10 日(日)の代々木駅(12 時～) 新宿駅(14 時～)を手始めに、順次実施日を決め、山手線 29 駅全駅での実施を実現する予定です。多くの参加者・協力者を呼びかけたいです。歌をうたいと演奏をしながら署名活動を行います。なお、当面の日時と実施駅名は下記の通りです。

1 月 10 日 (日) ——12 時～代々木駅、14 時～新宿駅
1 月 24 日 (日) ——12 時～原宿駅
2 月 13 日 (土) ——13 時～恵比寿駅、
15 時～目黒駅
2 月 20 日 (土) ——13 時～五反田駅、
15 時～大崎駅

◆東京・杉並 1000 人委員会 毎週火曜日に杉並区内各沿線駅頭で署名活動

東京・杉並の 1000 人委員会では、毎週火曜日に駅頭で署名活動を行っています。

1 月 12 日 (火) 浜田山駅 (井の頭線) 12 時～13 時まで
1 月 19 日 (火) 永福町駅 (井の頭線) 12 時～13 時まで

◆東京・南部 1000 人委員会 毎月第 3 火曜日に署名活動

東京・南部 (港区・品川区・大田区) も 1000 人委員会では毎月第 3 火曜日に駅頭での署名活動を行っています。

2 月 16 日 (火) JR大井町駅 (イトーヨカドー前)、18:00

各地での活動内容をご報告いただくとありがたいです。よろしくおねがいします。

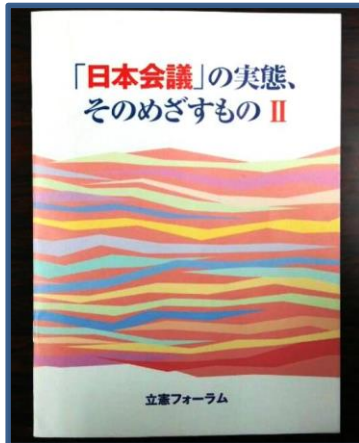
[連絡先 Email—info@anti-war.info](mailto:info@anti-war.info), FAX—03-3526-2921

【パンフレット紹介】

ご活用ください！

「『日本会議』の実態そのめざすものⅡ」

編集・発行：立憲フォーラム、領価：100円



安倍政権を支え、改憲運動をリードする「日本会議」ですが、今年の夏の参議院選挙で改憲勢力を2/3以上の獲得し、明文改憲を実現することをめざし、活発な活動を展開しています。日本会議に関する資料はほとんど少ないため、立憲フォーラムはパートⅠに続いて、パートⅡを作成しました。どうぞ活用ください。

注文は「戦争をさせない1000人委員会」まで

◆◆◆ 行動日程 ◆◆◆

■1月19日(火)

◇17:00～

「さあ！安倍政治を終わらせよう」1.19集会

講演：小林節慶應大学名誉教授

場所：憲政記念館・講堂

主催：戦争をさせない1000人委員会・立憲フォーラム

◇18:30～

私たちはあきらめない！戦争法を廃止へ！安倍内閣は退陣を！総がかり行動

場所：衆議院第2議員会館前を中心に

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

■1月23日(土)14:00～16:30

市民連合シンポジウム

場所：北とぴあ・さくらホール

主催：安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

■2月19日(金)18:30～

私たちはあきらめない！戦争法を廃止へ！安倍内閣は退陣を！総がかり行動

場所：衆議院第2議員会館前を中心に

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

■2月21日(日)14時～

沖縄連帯全国統一行動

場所：国会周辺

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会